

研修参加希望の皆様は、以下の事項をお読み頂いた上お申し込み下さい。

【申し込み要件】

全講座の申込み資格	東京都医療社会事業協会の会員となります。 <u>会費未納者は会費納入後にお申し込み下さい(会費未納者は受講できません)</u> 。また、学生会員は受講できません。
新人研修	一部、東京都の受託事業(東京都から研修費が出ています)となっているため、 <u>応募者多数の場合は正会員(都内会員)を優先とさせていただきます</u> 。
グループ スーパービジョン (A・B・C・D)	各グループスーパービジョンの受講者には成果編集として、全研修終了後、報告書(レポート)を提出して頂きます。 東京都で冊子にして発行予定です。書き方については最後のページを参照して下さい。

※開始時間を厳守し、講師や他の受講者の迷惑とならないよう配慮して下さい。全回出席できることが申し込みの基本条件となります。やむを得ない事情で欠席する際は各研修担当理事もしくは他の参加者に連絡して下さい。

※受講者は、連絡できる携帯電話番号・メールアドレスを事前に登録していただきます。

【申し込み方法】

新人研修	①協会事務所へ新人研修担当者宛として簡易書留で講座申込書を郵送して下さい。また、 <u>返信用の封筒もお忘れなく同封して下さい</u> (申し込み者の住所、氏名等、宛先を記入の上)。FAX、メール等での申し込みは出来ません。期間内で受付し、申込者多数の場合は担当者による抽選となります。 <u>詳しくは受講案内詳細(P3)をご覧ください</u> 。 ②協会会員であることが必須条件です。平成29年5月20日の理事会承認が得られた方までが対象になります。
新人研修 以外の講座	①講座案内をご覧頂き協会事務所へ各研修担当者宛に講座申込書をFAXでお申し込み下さい。 ②講座ごとに受付期間が異なりますので、各講座案内を確認の上お申し込み下さい。応募者多数の場合は先着順かつ初受講者を優先とします。

【注意事項その他】

※一つのグループに偏りがある場合は、教育部で調整させて頂く事があります。予めご了承下さい。

※参加者が定員に満たない場合は追加募集を行う事もあります。

※多くの会員が受講できるように、グループスーパービジョンに限り1人1講座の申し込みとさせていただきます。

※参加した講座で予定外の講義や合宿などを行う場合の費用は、全て自己負担となります。

※途中、講師などの事情により、講師や会場・日時の変更をする場合もあります。

※今年度の新人研修の受講生は来年度の新人研修の運営のお手伝い(概ね1回/年)をして頂くことがあります。また、毎回、宿題として前回の感想を提出して頂きます。

※新人研修以外にも「講座」を3回計画しております。

※今年度は「SV養成講座(6月~2月 計8回)」、連続講座「コーチング(6月~10月 計5回)」、「MSWのための労災講座(年度後期 計5回)」、「退院支援・アセスメント講座(年度後期 計5回)」を開催いたします。後期の研修につきましては、開催時期が近くなりましたら、再度、ご案内致しますので奮ってご参加下さい。

平成29年度 研修会予定一覧

研修名	講師	会場	定員	詳細(日程他)
◎新人研修会	協会依頼の講師	別紙参照	40名(通年) 20名(集中)	P 3~6、11、16
◎グループスーパービジョンA	古屋 龍太 先生 (日本社会事業大学大学院)	東京芸術劇場 会議室 (JR池袋駅西口徒歩3分)	9名	P 7、11、15 16
◎グループスーパービジョンB	石井 三智子 先生 (元、武蔵野大学 現、日本社会事業大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 8、11、15 16
◎グループスーパービジョンC	朝比奈 朋子 先生 (東京成徳大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 9、12、15 16
◎グループスーパービジョンD	助川 征雄 先生 (聖学院大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	9名	P 10、12、15 16
◎スーパーバイザー養成講座	福山 和女 先生 (ルーテル学院大学)	家庭クラブ会館 (JR新宿駅南口徒歩8分)	12名	P12、13、16
◎実践！ コーチング研修	伊藤 三恵先生 (オフィスDMe)	ThreeEightNine(389) MITAKA (JR三鷹駅南口徒歩4分)	20名	P 14、16
◎MSWのための 労災講座	年度後半の開催を予定しております。 詳細につきましては、追って皆さんにご案内いたします。			
退院支援・アセスメント 講座				

※各受講案内をご覧になった上で、お申し込み下さい。

※◎印の講座は、公益社団法人日本医療社会福祉協会の認定医療社会福祉士のポイント認定講座です。

研修会実施期間

開催予定月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		研修名												
新人研修会	(通年)	■												
	(集中)		■				■			■				
グループスーパービジョンA			■											
グループスーパービジョンB			■											
グループスーパービジョンC			■											
グループスーパービジョンD			■											
スーパーバイザー養成講座			■				■			■				
実践！コーチング講座			■				■							
MSWのための労災講座		年度後半を予定												
退院支援・アセスメント		年度後半を予定												

受 講 案 内 詳 細

新人研修（通年）

講 師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）
対 象 者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です。
定 員	40名
費 用	¥26,000（消費税込） 一部東京都受託事業 申し込み受付時に振込用紙を返送（開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい）

新人研修（集中）

講 師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会 場	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）、 飯田橋レインボービル1階A会議室（JR飯田橋駅西口徒歩5分）
対 象 者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です。
定 員	20名
費 用	¥17,000（消費税込） 一部東京都受託事業 申し込み受付時に振込用紙を返送（開講当日に振込用紙の控えかコピーを持参下さい）

※特別講義は通年・集中とも合同で開催します。それ以外の講義は通年・集中で分かれて開催します。

申し込み方法(通年・集中)

受付期間：研修会ご案内到着後～平成29年5月16日（火）当日消印有効

申込方法：下記2点を簡易書留郵送にてお申込下さい。

①別紙の講座申込書

②返信用封筒ーサイズ長3（A4三ツ折が入る大きさ）に82円切手を貼り、宛先（申込者の住所、氏名等）を記入する

申込受付：基本的に簡易書留郵送にて上記期間内で受け付けますが、応募者多数により受講頂けない場合があります。万が一受講頂けない場合は、担当者から申し込み者へ直接ご連絡させていただきますのでご了承下さい。また、指定の方法以外での申し込みは原則受付できませんのでご注意下さい。

受付住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11 福祉財団ビル5F
一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部 新人研修担当者迄

受講費用：受講申込期間終了後、受講決定者には研修費用の振込用紙等ご案内を同封頂いた返信用封筒で郵送致しますので、振込みを6月2日（金）までに完了して下さい。また、開講日当日には振込みの控えもしくはコピーをお持ち下さい。

申し込みに関するお問い合わせ先（メールでお願いします）

東京都保健医療公社 荏原病院
地域医療連携室 医療相談係 大宮 謙一
E-mail：kenichi_oomiya@tokyo-hmt.jp
TEL：03-5734-8000（代）

平成29年度 新人研修開催日程（通年）詳細案内

※講師敬称略

開催（日・時間）		内 容		講 師	会 場	
6月	9日	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭クラブ会館	
	23日		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー		
7月	7日	組織理解	(1) オリエンテーション・自己紹介	至誠会第二病院 樋口 昌彦		
	21日		(2) SWの機能と役割			
8月	4日		(3) 病院組織内の医療相談室 チームワーク			森山記念病院 仲谷 恵美子
	25日		(4) SWの業務の範囲と責任			
9月	1日		(5) 地域内諸機関との協働			
	15日		(6) 組織理解まとめ			
	29日	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子			
10月	13日	特別講義	④ 社会保障Ⅰ（年金、医療保険など）	山下社労士行政書士 合同事務所 山下 律子		
	27日		⑤ 社会保障Ⅱ（高齢、障がいなど）	順天堂大学医学部附属 練馬病院 柴田 礼子		
11月	10日	個別援助技術	⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾		
	21日		(1) この研修で目指すもの・コミュニケーション	武蔵野大学 小松 美智子		
12月	5日	(2) 理解的態度・共感的態度				
	19日	(3) スクリーニングとインテーク				
1月	16日	(4) インテークとアセスメント				
	30日	(5) アセスメント				
2月	13日	(6) アセスメントと支援計画（実践的判断）				
	20日	(7) 業務改善の視点				
3月	9日	(8) 個別援助技術まとめと振り返り 修了式				

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。（参加費別途徴収）

※勤務先、連絡先等変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内：家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6

平成29年度 新人研修開催日程（集中） 詳細案内

※講師敬称略

開催（日・時間）			内容（特別講義）	講師	会場	
6月	9日	19時から21時	特別講義	① 病院で働くということ ～ソーシャルワーカーの本質～	当協会会長 先輩OBソーシャルワーカー	家庭クラブ会館
	23日	21時から		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー	
9月	9日	9時から17時	組織理解	至誠会第二病院 樋口 昌彦 森山記念病院 仲谷 恵美子	飯田橋レインボービル 1階A会議室	
	29日	19時から21時	特別講義	③ 病気とソーシャルワーク	帝京平成大学 平岡 久仁子	家庭クラブ会館
10月	13日			④ 社会保障Ⅰ (年金、医療保険など)	山下社労士行政書士合同事務所 山下 律子	
	27日			⑤ 社会保障Ⅱ (高齢、障がいなど)	順天堂大学医学部附属練馬病院 柴田 礼子	
11月	10日			⑥ 記録と報告	国際医療福祉大学 小嶋 章吾	
12月	9日	9時から17時	個別援助技術 ～修了式～	武蔵野大学 小松 美智子	家庭クラブ会館	

※講師や会場その他の都合により日程が変更になる場合があります。その際は開講当日に決めた連絡網にて連絡します。

※7割出席にて修了証を発行します。

※最終日に皆勤、修了の表彰をします。その後、打ち上げ会を予定しています。（参加費別途徴収）

※勤務先、連絡先等の変更があった際は、都協会事務所と担当理事までご連絡下さい。

※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。急な欠席の場合は受講者同士で連絡を取り会場にいる担当理事に伝言ください。

会場のご案内： 家庭クラブ会館 東京都渋谷区代々木3-20-6
飯田橋レインボービル 東京都新宿区市谷船河原町11番地

新人研修講座概要

<講師>

特別講義：田上 明会長
武内 昶篤副会長
平岡 久仁子 先生（帝京平成大学）
山下 律子 先生（山下社労士行政書士合同事務所）
柴田 礼子 先生（順天堂大学医学部附属練馬病院）
小嶋 章吾先生（国際医療福祉大学）
その他、現任ソーシャルワーカー

組織理解：樋口 昌彦 先生（至誠会第二病院）
仲谷 恵美子 先生（森山記念病院）

個別援助技術：小松 美智子 先生（武蔵野大学）

新人研修は内容としては特別講義、組織理解、個別援助技術の3部構成、研修体系としては通年・集中の2コースに分かれています。

<内容>

特別講義（全6回）は通年・集中両方の参加者全員に受講して頂きます。新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

組織理解は組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

個別援助技術は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかにに行い、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにはどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

<研修体系（通年コース・集中コース）>

通年コースは、概ね月2回（スケジュール上1または3回の場合有）実施します。特別講義6回、組織理解6回、個別援助技術8回の全20回開催予定です。一年間、じっくりソーシャルワーカーとしての基礎を学べるコースです。

集中コースは、通年コースでは回数が多いので業務上参加が難しいという方の為に特別講義6回は変わりませんが、組織理解と個別援助技術を各1日でコンパクトにまとめて学べるようにし、全8回開催予定としたものです。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンA

講師 古屋 龍太先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			21日	19日	23日	20日	18日	15日	20日	17日	21日	28日
開催時間 曜日	19時00分～21時00分 第3または第4水曜日開催											
会場 対象者	東京芸術劇場 会議室 (JR池袋駅西口徒歩3分) 経験年数1年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日(火)必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申込みください。(メール不可)											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

古屋龍太先生より

昨年度のAグループでは、9名の方から事例を提出して頂き、皆で質問し意見を述べ合い、自分であったらと考えながら、相互に省察を深めていくピア GSV の形をとりました。

臨床現場で目の前のクライアント (CL) と向き合う時、ソーシャルワーカー (SW) は色々なジレンマやコンフリクトを抱え込みがちです。ともすれば CL 側の「問題」と医療職が判断しがちな事柄が、実は SW 側の課題を表していることもあります。SW が、CL にとって最良の選択肢をと願ってはいても、自職場の中でできることとできないこともあり、自職場の多職種チーム内における自身の立ち位置の課題に直面せざるを得ないこともあるでしょう。

自身の行為が本当に SW のかわりとして適切であったか、他者の目を通して評価してもらわねば、下手をすると忙しい日々の中の業務として通り過ぎてしまい、身勝手な持論が形成されかねません。臨床現場での営みは、ミクロな支援のかわり方を中心としつつ、SW としての自職場におけるポジショニング、病院内における他職種とのかわり、地域の関係機関との関係など、同心円状に広がっていきます。GSV-A では、参加者の直面した事例を通して、一人ひとりの SW としての価値と視座を再確認することを大切にしています。そして、現場のもやもやを一人で抱え込むことなく、自身のメゾレベルの周辺環境をどのように変えていくことができるか、その方法を受講生と一緒に考えていければと思っています。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			22日	27日	24日	28日	26日	16日	14日	25日	22日	22日
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日開催（11月は第3木曜日・12月は第2木曜日）											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分） 経験年数1年以上5年未満の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込みください。（メール不可） 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F											
申込先	東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											
<p>石井 三智子先生より</p> <p>今年度のテーマとして、「面接の再考」を考えている。ソーシャルワークにおいて、クライアントや家族の置かれた状況理解、また人間理解の促進のために、面接は、不可欠な大事な方法である。できれば、後者の人間理解の側面に軸足を置きたいと思っている。病気や障害が、その人と家族の人生にとって、与える影響は、時に大きい。それは、ダメージという意味においても、また再生という意味においてもである。医療者は、いのちの保障、痛み（pain）の軽減に関わるだろう。私たちソーシャルワーカーは、人間が感じる痛みや苦しみ、苦難の軽減にどのような方法で、寄与できるのだろうか？人が感じる痛みが</p> <p>pain であるならば、社会的な痛みや苦しみを与える原因の存在を暗示することとして、社会的な苦しみ（social suffering）に着目したい。面接を通じたその共有と、相互交流という「面接の原点」について、メンバーとともに探っていきたいと思っている。スーパービジョンの方法としては、ピアグループ的なものをイメージしている。毎月提出される事例について、メンバーによる複数の眼で検討していくことによって、新しい視点や支援策の発見があることを期待したい。下記に示す参考文献は、初回に用意していただく必要はない。適宜、新しいものも紹介する予定である。</p>												

参考文献：

- ① 皆藤 章 編・監訳 A・クライマン他著「ケアをすることの意味」誠信書房 2015
- ② A・クライマン他著「他者の苦しみへの責任」みすず書房 2011
- ③ 小森 康永著「ナラティブ・メディスン入門」遠見書房 2015
- ④ 末森 千枝子「人生に大切なことはすべて絵本から教わった」現代企画室 2010

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンC

講師 朝比奈 朋子先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			12日	10日	21日	11日	2日	13日	11日	15日	19日	12日
開催時間	18時30分～20時30分 第2または第3月曜日開催											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR 新宿駅南口徒歩8分） 経験年数2年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛にFAXでお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

朝比奈 朋子先生より

このグループでは、「生活アセスメント」の手法を用いてGSVを行います。医療機関の中で唯一、クライアントを「生活者」として支援・援助する立場のMSW。当たり前のことすぎるけれど、本当にクライアントの「生活」を理解した上でソーシャルワークを行っているのでしょうか。

「どこまで患者の話を聞いていいのかわからない」、「さまざまな情報を基に支援をしているのに、患者・家族の考えていることがよくわからない」、「自分の行った支援がよかったのか自信がない」等々、イマイチスッキリしない思いを抱えて日々の業務をしている方は、クライアントの「生活」を十分に捉えないうまま支援していることに原因があるかもしれません。

このグループでは、まずはわたしたちの生活のしくみを講義で確認した上で、「生活アセスメントシート」に記入した事例を持ち寄り、丁寧にクライアントの生活を捉えることを通じて「クライアントが見える」（共感的に理解する）ようになることを目指します。これらの過程を繰り返すことで、各自が生活を理解する視点を持ち、自信を持って日々のソーシャルワークを行うことができるようになることを目標とします。

1年間ともに学び合い、明日からのソーシャルワークを自信のあるものに変えましょう！

参考文献：生活アセスメント研究会編集『福祉・介護に求められる生活アセスメント』中央法規 2007

*参考文献はあくまでも参考です。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			16日	21日	25日	15日	20日	17日	8日	19日	16日	16日
開催時間 曜日	19時00分～21時00分 第3金曜日開催 8月のみ第4金曜日、12月のみ第2金曜日開催											
会場 対象者	家庭クラブ会館（JR新宿駅南口徒歩8分）第5会議室 経験年数4年以上の方 注：参加に際しては所属機関からの了解を得てください。また、講座での学びを上司へ報告できるような体制で参加してください。 なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	9名											
費用	資料代実費 ※東京都受託事業											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX でお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

助川 征雄先生より

この GSV では、参加者の自由な発言や体験交流を大切にしたいと思えます。特に大切にしたいことは、クライアントと「関わりを大事にしたかどうか」ということです。それらの検討を通じ、クライアントの様々な困難と同時に担当者を取りまく課題などを再認識し、解決のためのあらたな発想（着眼点）などを見つけ、共有することを目指したいと思えます。

また、医療機関という高度な技術やサービスが期待される職場ならではのご苦労があると思えます。多職種とともに働く喜びと同時に、そのような場において、ソーシャルワーカーは何をなすべきかという、「役割をはたすための様々な工夫や苦心」が多々あると思えます。それらを忌憚なく自由に吐露できる場にぜひできたら良いなと願います。

ソーシャルワーカーは、その働きの中心に「生活支援」を掲げてきました。しかし、少子高齢化や社会格差など、生活環境の複雑化が加速しています。それらの中で、医療保健福祉ニーズがますます多様化し、現場では、さらなる負担を余儀なくされてい

（参考文献）

助川征雄；ふたりぼっち（精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書）・万葉舎 2015
 助川征雄；（福祉の現場で役に立つ）スーパービジョンの本：河出書房・2012
 柏木昭、佐々木敏明；ソーシャルワーク協働の思想：へるす出版・2010

ます。しかし、これからは「リカバリーの時代」です。それは、クライアント共に創る「共創型の社会」を一層めざすということです。専門家は、クライアントの経験知に学び、彼らの自力を大切にし、自己決定のチャンスを広げる援助視点や、シャープアップされた専門スキルをもって「その解決や緩和に貢献する」ということです。

GSV は参加型の自己啓発の場でもあります。私も、これまでの経験をもとに、率直かつ柔軟にこの場に臨み、「共創」の考えをはじめとし、未来への夢や希望を語り合い共有したいと思えます。

なお、この GSV の参加者は9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次回の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思えます。

時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思えます。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解を得て、資料表記は匿名でお願いします。

また、下記参考文献をご覧になり、GSVへご参加くださるようお願いいたします。

昨年度の受講者の声より

新人研修

- ◆職場の先輩に勧められて受講しましたが、学びたかった援助技術についてや、社会保障等についても広く学ぶことができました。また、同年代の受講生の方々と話すことで、仕事でつまづいたことを共有し、アドバイスを受けることができたりして、学ぶ場と同時に改めてリフレッシュできる場でもありました。
- ◆講義を通じて自分を見つめ直すことができたり、組織理解では自分がやっていたことが間違っていた部分もあることに気づいたりしたことで、少し自分に自信が持てました。また、当初この研修の目標にしていた横のつながりも構築することができました。
- ◆学校では学べなかった実践的な技術を学ぶことができました。また、同じ職場で同期がいない私にとって、たくさんの同期と会って情報共有ができる都協会の研修はとても貴重な場となりました。初めての社会人、慣れない仕事で、いっぱいいっぱいだった1年でしたが、そんな中でもなんとか2週間に1回研修を頑張って受けてきたことは、必ずこれからの糧になると思います。

グループスーパービジョンA

- ◆GSV-A では事例報告者が事例を発表した後は、他受講生より質問を行っていくスタイルを取られています。自身の質問内容を振り返ってみるとソーシャルワークの価値をどこに重きを置いて日々業務をしているか等改めて考えることが出来、かつ自身に不足している点を知ることができた研修でした。また、色々な経験を有している受講生の集合体のため、同じ目的・目標を持つ受講生たちで切磋琢磨でき、ソーシャルワーカーの仕事の楽しさを再認識できました。
- ◆経験年数や所属機関の機能の異なるソーシャルワーカーが一同に会して事例検討をする場は非常に貴重であり、刺激的だと思いました。業務の中でGSVの中で得た気づき（例：他機関の紹介方法、クライアントの向き合い方）を生かす場面は多く役に立っています。

グループスーパービジョンB

- ◆事例提出をし、メンバーの皆様からのご意見を頂き、新たな視点に気付かされました。一方で、急性期病院の事例にふれることで、療養型病院の受け入れる側としての相談の乗り方の姿勢を考えさせられました。メンバー・先生の雰囲気も良く、事例提出者を否定しないところが、自分も含めお勧めできるところです。
- ◆様々な機能の病院の事例から、その機関だからこその悩みや共通の悩みを知ることができました。自分にはない視点でアドバイスを頂けるこの講座は、新しい引き出しをつくる良い機会となりました。

グループスーパービジョンC

- ◆ 成育歴などから患者さんの思考・行動について、紐解いていくことが今までになく、勉強になりました。また、情報の「事実」を簡潔にまとめ検討する有効性を感じました。
- ◆ ソーシャルワークを行う上でとても生活アセスメントは重要であると再確認しました。
- ◆ 1人の患者さんの生活歴を書き出し、これほど深くアセスメントすることはなく、生活アセスメントを取り入れる意識が高まりました。

グループスーパービジョンD

- ◆ 他の病院のSWと出会えたこと、様々な視点・考え方に刺激を受けることができ、お互いに受け止め合いながら議論出来たことが大きな収穫物です。
- ◆ 仲間の支持的なアドバイスや雰囲気の中で安心してケースを振り返り、素直に次に向けた反省も受け止めて考えることが出来て、経験年数に関わらず本当に役に立っています。
- ◆ 悩んでいるのは自分だけではないのだと毎回講座の後にすっきりして帰ることが出来ました。日々の業務を振り返る良いきっかけとなりました。

スーパーバイザー養成講座

- ◆ 普段の業務の考え方がいかにミクロレベルで行っていたかがよくわかりました。組織で働く人間としてどう考えるか、どうシステムをつくっていくか、という視点をもてるようになってとても1年支えられました。
- ◆ 毎回講師の先生からの問いに頭をひねって、ひっくり返して、何とか答えを出そうとし、その過程がとても面白かったです。また、スーパービジョンにおける一番大切なことを学ぶことが出来ました。共に働く人を支え、その人の能力を引き出せるバイザーになりたいと思います。

受講案内詳細

スーパーバイザー養成講座

講師 福山 和女先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			20日	18日		19日	17日	21日	19日	16日	20日	
開催時間	18時30分～20時30分 第3火曜日 開催											
会場	家庭クラブ会館（JR 新宿駅南口徒歩8分）											
対象者	経験年数2年以上の方。なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	12名程度											
費用	16,000円											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX にてお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

福山 和女先生より

スーパーバイザー養成講座では、日ごろのスーパービジョン活動の中での疑問点・困難点、を明らかにして、これまでにできてきたことの**積み上げ**をするためにその妥当性を見つけましょう。

最近では、新人養成も難しくなってきたようですが、スーパーバイザーである皆さんのやり方が問題なのではありません。むしろ、そのような現象が生じる社会の特徴ですので、スーパービジョンでは、その**特徴**をうまく活用していきましょう。

実際には、質の高いソーシャルワークが求められていることから、多職種との連携でも、「さすがソーシャルワーカーさんですね」と言われたいものですね。

部下の方への指導の仕方も、所属組織の特徴を加味して行うことが必要になるでしょう。

スーパービジョンの話し合いでは、所属組織の課題も取り上げることになりますが、情報開示の件は十分に考慮して行います。もちろん、**秘密保持の原則を順守**し、たとえば、「アメリカでは・・・」というように、内容を加工して話し合うことも専門家には求められる能力ですのでそのトレーニングも致します。また、組織の運営方針などには、干渉いたしませんので、ご安心くださいね。

一緒にスーパービジョンを通してソーシャルワーク実践の探究の旅にでてみましょう。

【参考文献】

『ソーシャルワークのスーパービジョン』ミネルヴァ書房（2005年）

『統合的短期的ソーシャルワーク』金剛出版（2014年）

※参考文献は、事前にご用意ください。

受講案内詳細

実践！コーチング研修

—あなたの「コーチ力」をブラッシュ・アップ—

講師 伊藤 三恵 先生

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			17日	15日	19日	16日	21日					
開催時間	14時00分～16時00分 第3土曜日 開催											
会場 対象者	389MITAKA会議室（JR三鷹駅南口徒歩4分） 部下の指導をする立場にある方でコーチングの活用に関心がある方。 その他、指導をする立場になくても、コーチングに関心を持っている方であれば対象とします。なお、認定医療社会福祉士のポイント申請される方は、 <u>欠席、遅刻、早退</u> がありますと証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	20名程度											
費用	20,000円（税込）受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。											
申込期間	<u>平成29年5月16日（火）必着</u>											
申込方法	講座申込書に記入し、下記宛に FAX にてお申し込みください。（メール不可）											
申込先	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5F 東京都医療社会事業協会 事務局 宛 TEL 03-5944-8912 FAX 03-5944-9745											

伊藤 三恵先生より

「コーチング」とは、相手の自発的行動を促進して相手の成功（目標達成）と成長をサポートするコミュニケーション・スキルです。

ますます必要とされる医療ソーシャルワークを担う人材を育成することは、みなさんの大きな課題でありながら、時に「悩みの種」になっているかもしれません。1つの選択肢としてコーチングを習得することは、対応の幅が広がります。

実践！コーチング講座は今回で第3回目になります。毎回、参加者同士の強いつながりもでき、大変楽しく学べる講座です。ぜひご参加ください！

「コーチングを学ぶこと」、「コーチをすること」、「コーチを受けること」は、必ず自分自身の成長につながります。

〈各回の予定〉 ※変更する **場合** があります

- 第1回：コーチングの基本
- 第2回：コーチング・スキル
- 第3回：コミュニケーションのスタイル
- 第4回：自己基盤を整える
- 第5回：総合演習

グループスーパービジョン等における事例の記載方法

グループスーパービジョンは東京都の受託事業であり、受講者には必ず成果編集で事例を提出して頂きます。それは「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子として東京都がまとめて都庁都民情報ルームや図書館などで広く一般に出回るため、提出の際に様々な配慮が必要となります。そこで、東京都医療社会事業協会として記載方法を統一しました。

1. 基本的考え方

- ①個人情報保護の観点から、匿名性の表現には特に留意する。
- ②ソーシャルワーカー以外の読者にも分かりやすい表現を使うこと。

2. 事例の選び方

終了しているケースが望ましいが、グループの特性にもよるため、スーパーバイザーの指示に従う。事例を提出するにあたっては、基本的にクライアントの承諾を得て下さい。

3. 具体的な様式

(1) ページレイアウト

- ①形式 ワード形式 (Word)
- ②A4 1行41字、1ページ46行 (1ページ1800字程度) 全文で4枚以内に収める。
- ③余白 上・下・左・右 30mm
- ④字の大きさ 明朝体 大見出し(タイトル) : 14ポイント、本文 : 10.5ポイント

(2) 基本的項目

表題	(1) 事例提出理由 (2) 事例概要 (クライアントの基本情報) (3) 事例経過 (4) 考察 (5) グループスーパービジョンを受けて感じたこと及びまとめ ※グループでの事例検討の段階では所属と氏名を記載し最終提出の際は消す。 ※(1)～(5)以外の項目はスーパーバイザーの指示に従う。
表記	・人物や機関が特定されないように配慮し、「である体」で記す。 ・「病棟」の看護師、「外来」の看護師など分かり易く書く。 ・「～にTEL」などと略さず「～に電話を入れる」と書く。 ・発言は、「」を入れ、誰の発言か明確にする。 ・面接や面談は、どこで、誰と誰なのかが分かるように書く。 ・カンファレンスなども、参加者を分かるように書く。
人物	名前、イニシャルと関係なく、A氏、Bケアマネジャー、C医師等とする。
機関	名称と関係なく、A病院、B介護老人保健施設、C診療所等とする。又、在支、老健等と略さない。
地名	地名と関係なくA区、B区、C県等とする。区域の明示が必要な場合は、都内、都外、〇〇地方といった表現にする。
職業	個人が特定できるような職業の明記は避ける。
日時	かかわりの初日から何日目、のように、経過の間隔は分かるようにして、出来るだけ年月日は特定しないようにする。
略語	G S V、M S W、D r、N s等指定されたもの以外はなるべく略語を使わずに明記する。略す場合、最初に「～医療ソーシャルワーカー(以下「MSW」という。)～」と示すこと。
家族図	図示する場合は、男性□、女性○、クライアント回・◎、死亡者■・●で表記する。クライアントと同居している家族を囲むと分かりやすい。
病名	基本的には略さず、日本語で明記する。

4. 原稿の提出

方法：Eメールに添付するなど担当者の指示に従い提出する。

期限：提出期限は基本的に次年度の4月末とするが、各研修の状況により期限が前後する場合もある。それまでの過程はスーパーバイザーの指示に従う。

※提出して頂いた原稿はお返し致しません。又、冊子の校正を進める段階で、場合により東京都の担当者が一部訂正・削除をすることもありますのでご了承下さい。

※受講時の事例の配布についても、同じように特定されないような配慮をし、事例提供者が最後に回収する等個人情報の保護に努めて下さい。

平成29年4月1日 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部

平成29年度 講座申込書

	講座名	コース選択等
<input type="checkbox"/>	新人研修	<input type="checkbox"/> 1. 通年コース ※通年コースが定員に達した場合、集中コースを希望しますか？ <input type="checkbox"/> 2. 集中コース (<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない)
<input type="checkbox"/>	グループ スーパービジョン	<input type="checkbox"/> A (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> B (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> C (受講歴があれば受講年度：H 年度) <input type="checkbox"/> D (受講歴があれば受講年度：H 年度)
<input type="checkbox"/>	スーパーバイザー養成講座	
<input type="checkbox"/>	コーチング講座	
申込 動機		
私は、上記研修で取り扱われる個人情報研修内に留め、守秘義務を遵守することに <input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません 氏名(自署) _____		

※希望する講座・コースの□にレ点のチェックを入れて下さい。

※申込動機も必ず記入して下さい。

※不明な点や質問等があれば、備考欄に記入して下さい。

※昨年度受講出来なかった講座：無し・有り(講座名 _____)

申 込 者 関	フリガナ 氏	名	性別 男・女	年齢 歳	経験年数 年 月	
	所 属 機 関	名称	部署			
		住所 〒 _____ (※郵便番号は必ず記入)	電話	—	—	
		市・区	FAX	—	—	
	緊急時連絡先	(携帯・自宅 _____)				
		Mail: _____ @ _____				

※所属機関以外の個人情報は受講生名簿に掲載しません。また、受講申込等の管理と担当者からの連絡以外に使用することはありません。

※自宅会員の方は、自宅住所等を記入して下さい。

※緊急時連絡先は必ず記入して下さい。中止や変更時の連絡に使用します。

一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部